## 東日本大震災 被災港湾現地調査(第3班)

平成23年4月18日~20日 八戸港 久慈港 宮古港 メンバー: 樋口、海野、橋元

## 

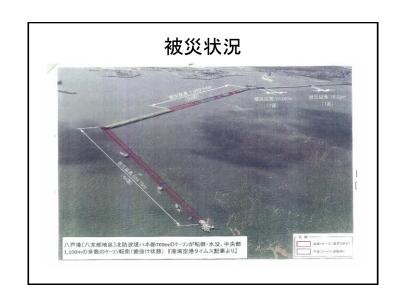
### 八戸港

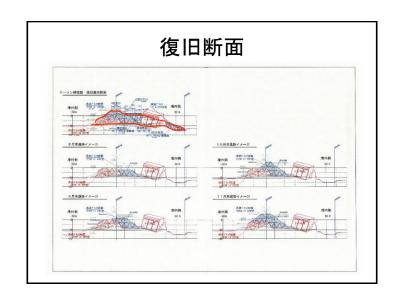
被災概況北防波堤 3496mのうち1870m被災 被災函数 142函

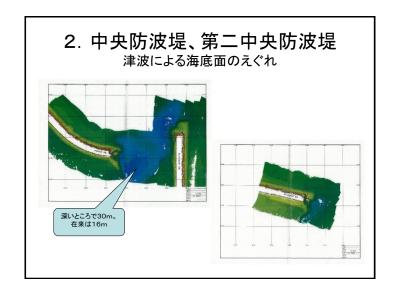
第一中央防波堤 堤頭函 1函 第二中央防波堤 堤頭函 1函 航路泊地14m 平均1m埋没 市川船溜り フェリー埠頭 ボーディングブリッジ損傷

\*青森県港湾施設被害 345億円(内八戸港313億円)











# ・護岸端部が津波により損壊

### 久慈港

• 被災概況

湾口防波堤 整備延長(北395m、南375m) 本体部は被災なし、先行基礎部のえぐれ 仮置ケーソン3函 転倒損壊

半崎地区 石油備蓄基地 陸上施設壊滅

山中の備蓄タンクは無事

北日本造船施設壊滅

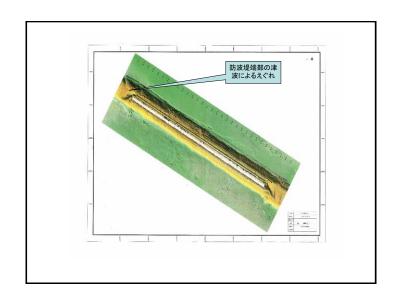
船体ブロックを八戸港に移送

玉の脇地区 防波堤損壊、物揚場損壊

- \* 監督測量船港外退避で無事(津波襲来まで40分)
- \* 久慈市は人的被害最小













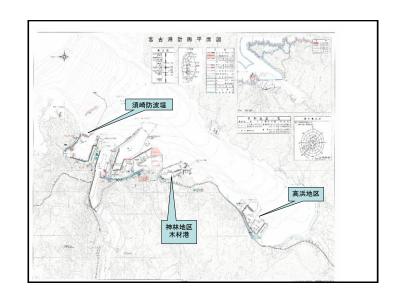


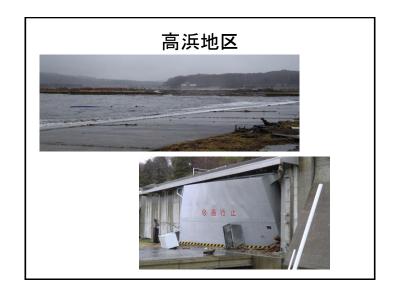




### 宮古港

- 被災概況高浜地区 防波堤消滅神林地区 木材港防波堤損壊出先地区 防波堤損壊
  - \*電気復旧 4月12日
  - \*監督測量船 損壊



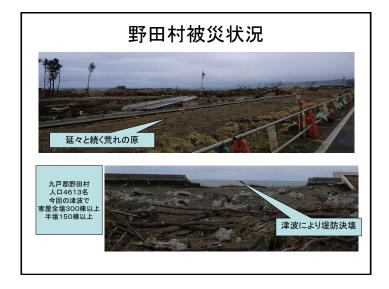












### 被災港現地調査を終えて

- 自然のエネルギーの大きさに驚愕 ・・・・百聞は一見に如かず
- ・日常の災害への啓発活動が重要 久慈港では前日の「津波避難訓練」が効果 人命被害2名と極小
- ・津波は海底面にも凄まじい力を加えることが判明
- ・施設整備への考え方の再整理(安全と費用のバランス)
- ・港湾BCPへの津波被害の想定と広域連携の検討が 重要課題

### おわり

「がんばろう東北」

被災地の皆様に心よりお見舞い申し上げます